



**発行所**  
 社団法人 全国珠算教育連盟  
  
**青森県支部**  
 所在地 三沢市中央町4丁目4-6  
 ☎0176 (53) 3662  
 支部長 齋藤 隆  
 責任者 福士隆行

**三沢地区アメリカンスクール生徒、そろばんコンテスト開催！**

第22回三沢地区アメリカンスクールそろばんコンテストが、初夏の訪れを感じさせる汗ばむ陽気となった6月1日（金）、三沢市公会堂で開催されました。今回は米軍三沢基地内のソーラズ、カミングス両小学校とエドグレン中・高校から39名が参加、日頃の練習の成果を競いました。

開会式では、恒例の「国旗に対する誓いの言葉」が読上げられた後、主催者を代表して齋藤隆支部長が挨拶、「コンテストを通じてアメリカと日本国民の文化交流に役立てるのは大変うれしいことです。そろばん学習は計算はもちろん、暗算力・集中力・向上心などの知的能力を高めるのに最適な教育器具と言われています。そろばんを練習して能力を高めてください」と話されました。

競技は「英語読上算」「プリント計算」「フラッシュ暗算」の三種目。今回は少数精鋭、実力伯仲の熱戦となり、特に5年生の部は、プリント計算競技(8級から5級程度の加減算・30題7分)で、参加8名中4名が満点となり、決定戦の末ソーラズ小学校のアネット・ベルマンさんが優勝、読上算競技も制し二冠を達成しました。



＜優勝したアネットさんと校長先生＞



＜盤面に集中する生徒たち＞

競技終了後、三沢市立木崎野小学校5年の齋藤俊君が「フラッシュ暗算」の模範演技を披露、最初は七段の問題でしたが生徒、父兄は信じられない様子でスクリーンを見つめ驚きの表情を浮かべていました。最後に十段の問題を正解すると歓声があがり、続いて拍手がわきおこりました。続く質問コーナーでは「一日どれくらい練習していますか」「土日も練習するんですか」「そろばんの練習は好きですか」等々、次々に質問が飛び交い、齋藤君は戸惑った様子で答えていました。

**平成24年度 前期  
支部行事予定表**



月日	行事	場所
7月15日	第350回珠算・暗算検定試験	全国一斉
8月3日	第40回東北七県珠算競技大会 (松島町・大観荘)	宮城県
8日	全日本珠算選手権大会	京都市
13日	(～16日まで)支部休み	
13日	(～21日まで)そろばん訪米使節団	アメリカ
19日	通常総会・講習会(浅虫・観光ホテル)	青森市
26日	珠算(4～10級)・暗算(1～6級)検定試験	県下一斉
9月8日	理事・支部長 本部通常総会	京都市
30日	第351回珠算・暗算検定試験	全国一斉

**通常総会・講習会のおしらせ**

◎日時：平成24年8月19日（日）  
 ◎場所：青森市『浅虫観光ホテル』  
 ◎時間：  
 【総会・会員表彰】13:00～14:50  
 【講習会】15:00～17:00  
 第一講座『開平の指導法』  
 講師：能登金文研修部長  
 第二講座『開立の指導法』  
 講師：齋藤隆支部長  
 【懇親会】18:00～20:30  
 ★青森地区からのおしらせ  
 カラオケ大会を実施します。  
 各地区代表1名以上の参加をお願いします。

**浅虫観光ホテル**  
\*\*\*\*\*

2010年7月、リニューアルオープン!浅虫温泉唯一波打ち際、展望露天風呂のあるこのホテル。陸奥湾の眺望と青森ヒバの香り漂う露天風呂、青森特有の品々を使った美味しい料理、客室からの素晴らしい眺め…。浅虫の魅力を存分にご堪能下さい。



**★行事予定、訂正のお知らせ★**

4月の臨時総会で配布した、「平成24年度事業計画・収支予算書(案)」に訂正箇所がありました。平成25年3月24日(日)に「創立60周年創立記念式典」とありますが、平成26年の誤りでしたので、訂正してお詫び申し上げます。

※しめ切りは、**7月20日**です。  
 (期日厳守)  
 欠席の場合は、  
**必ず委任状を提出下さい。**

# 人材育成講習会に参加して

文章：むつ地区 工藤慎也

「楽しさは生徒の内から湧き出るもの」

珠算教育研究所長・岡久泰先生の言であった。今回、理事長を始めとする本部役員・委員の先生方から、とても有用な講義を拝聴させていただいたが、特にその一言が深く印象的に残っている。

楽しい教室作りは当方の塾運営において、第一義となるものだ。好きこそもの上手なれ。生徒が楽しいと感ずれば、上達もはやい。そこで私は「楽しい教室」＝「楽しい先生」と考えた。楽しい人に、人は集まるものである。尊敬される先生とか誠意ある先生の前に、まず楽しい先生。そこを目指して自らを楽しく面白おかしい先生に仕立て上げていった。(一応断っておくが、メリハリはつけている。叱るときは叱る。真面目なときは真面目。)そうやって生徒とも悪くない関係を保ち、そこそこ笑いのある楽しい教室を作ってきた。自分の中で「自らの希望に近い教室像」は、まあこんなもんかな、という漠然とした手ごたえがある。ただ、どこか1ピース足りないような感触もあった。どこにあるか分からなくて掴みどころはないけれど、確実に存在している小さな違和感。それは一体なんなのか？ それこそ漠然とした疑問を持って、京都入りしたわけである。

そして話しは最初の岡久先生の言に戻るが、どこぞよくある話のように、雷に打たれたような衝撃を受けたほどではない。なぜか？ 当たり前の話だからである。楽しい教室とは「生徒が楽しい教室」なのだ。楽しい先生を意識するあまり、楽しさの押し売りをしていなかったか、自分だけが盛り上がりすぎて生徒がついてきていないことはなかったか。「先生が楽しい」>「生徒が楽しい」になっていなかったか。私が感じていた何か足りない部分とは、生徒の中から出る楽しさを「意識していなかった事」だと思う。楽しい、ということをやや簡単に考えていた。自分が楽しくなければ相手も楽しくない、というのは確かにその通りだが、自分勝手な楽しさを生徒たちに提供してはいけないのだ。そんな学びを胸にむつへ帰ってきて、私の授業の仕方変わったかといえば、実はさほど変わってない。そう簡単には変わることはいかない。でも、すこしだけ変わったのは「意識」である。生徒を見るとき、岡久先生の言うように「生徒は楽しんでいるか」を意識するようになった。これまで薄ぼんやりとした疑問を持ちながら、どこか霞がかかった心で生徒と接していたのが、今ではすっきり青空のような気持ちで向き合っている。

ここまでで、人によっては「何を当たり前のことをグダグダ語っているのか」と思う方もおられるだろう。「そんなことも分からず、人様の子どもを預かっていたのか」とお怒りになるかもしれない。だが今回の講習会で全国の先生方と色々お話をさせていただいたが、所変わればその環境も大きく違い、当たり前も当たり前ではなくなるのだ。当たり前に「気づかない」ではなく「気づけない」のだ。これってごく普通のことでしょう？ みたいな感じで話したことが、他県の先生にしてみれば大きな驚きだったり、大変な参考になったりする。他県の先生と交流を持つ中で様々な塾運営、授業形態、保護者・地域との関わり等の情報交換。言うなれば、当たり前の交歓を行い、自塾の参考にする。人材育成講習会とは、講義だけで育成される場ではないのだ。

先生だって、成長したいと願っている。「どうしてこんなこともできないの！」と子どもに言っていないのは、教育現場での常識であるが、それは大人同士でも同じではないか。経験・環境によって、知っていること・知らないこと・できること・できないことは大きく違う。生徒にだけじゃない、先生同士でも優しさをもって「当たり前の共有」をしていけたら、珠算界はこれからも発展存続していけるかもしれない。人材育成講習会に参加して、そんな意識・感覚を持てたことは私にとって非常に大きい。



<感想を発表する  
工藤慎也先生>

## 大会結果報告

第43回青森県珠算大会  
兼 第40回東北七県予選会

◆表彰式の様子



入賞しているかな…ドキドキ!



トロフィーもらったよ★

平成24年6月24日、三沢市星野リゾート青森屋で県大会兼予選会が行われました。この予選を通過した選手40名は、8月3日に宮城県松島町で行われる東北七県大会に参加し、入賞を目指します。

### ◎各種目優勝

#### ●団体総合競技

4年以下の部 三沢珠算塾  
5・6年の部 〃  
中学校の部 東北珠算塾

#### ●個人総合競技

3年以下の部 舘山 巧 (三沢)  
4年生の部 鳥谷部世莉 (三沢)  
5年生の部 斎藤 俊 (三沢)  
6年生の部 工藤 真大 (三沢)  
中学校の部 榊 咲花 (三沢)



目指せ!団体10年連続完全制覇!

#### ○フラッシュ暗算競技

4年以下の部 江川 豪生 (三沢)  
5・6年の部 斎藤 俊 (三沢)  
中学校の部 蓬畑 実紗 (東北)

#### ○読上暗算競技

4年以下の部 鳥谷部世莉 (三沢)  
5・6年の部 斎藤 俊 (三沢)  
中学校の部 甲地 玲奈 (東北)

#### ○読上算競技

4年以下の部 中山 仁 (友香)  
5・6年の部 斎藤 俊 (三沢)  
中学校の部 酒田 佳旺 (東北)

※( )…塾名



全珠連検定は、7月で350回を迎えます。その記念に7・8月に珠算・暗算検定を受けた生徒に「第350回記念定期」をプレゼント!!定期は30cmで、上下どちらにも目盛りがついている、透明の定期です。お楽しみに♪

見本!

